

令和元年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議

事業報告 (案)

令和元年 7 月、アゼルバイジャン共和国で開催された第 43 回世界遺産委員会において、「百舌鳥・古市古墳群－古代日本の墳墓群－」が世界遺産に登録された。

世界遺産登録を受け、同年 12 月、地元 4 自治体による推進体制を「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議」から「百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議」に改組した。

I 保存活用会議運営にかかる総合調整事業

1 保存活用会議について

- 令和元年 5 月 16 日 (木)
第 23 回百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 (書面開催)
・平成 31 年度決算を承認

- 令和元年 12 月 20 日 (金)
第 24 回百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 (書面開催)
・世界遺産登録を受け、組織名称等を変更するとともに、規約を改正

- 令和 2 年 3 月 27 日 (金)
第 1 回百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議 (書面開催)
・令和元年度事業報告、令和 2 年度事業計画・予算を承認

2 専門部会における主な取組

保存活用会議規約第 9 条第 9 項に基づく資産専門部会、緩衝地帯専門部会、来訪者対策専門部会の 3 つの専門部会を運営し、今後の保存管理のあり方等について検討を行った。

① 資産専門部会の取組

- ・ 構成資産に関するモニタリングの実施方法にかかる検討
(記入様式案の作成、定点観測写真撮影位置の現地での試行等)
- ・ 今後の史跡整備方針の策定に向けた検討
(国際専門家会合に向けたスケジュールや会合の構成、地域住民の参画の在り方等)
- ・ 各市で進行中/進行予定の構成資産の調査や整備事業(緊急修理)に関する情報共有 等

② 緩衝地帯専門部会の取組

- ・ 緩衝地帯に関するモニタリングの実施方法にかかる検討
(記入様式案の作成、定点写真撮影手順の作成等)

- ・ 緩衝地帯内外における遺産影響評価の枠組みについての検討
- ・ 遺産影響評価が必要と示された工事等について、属性に基づいた評価手法を検討 等

③ 来訪者対策専門部会の取組

- ・ 来訪者への対応に関するモニタリングの実施方法にかかる検討
(記入様式案の作成、モニタリング機器の設置等)
- ・ 今後の来訪者受け入れ方針の策定に向けた検討
(現状と課題にかかる認識共有、ガイダンス機能のあり方や周遊ルート等)
- ・ マナー啓発の充実を図るための検討
(既往の取組にかかる情報共有等) 等

II 学術検討・条件整備事業

1 イコモスによる評価結果及び勧告への対応

【勧告日】 令和元年 5 月 14 日 (火)

【内 容】 世界遺産一覧表への「記載」が適当である。

【対 応】 国とともに評価書の内容の精査を行い、評価書に含まれる事実関係の誤りについて、ユネスコ世界遺産センターあて文書により通知した。

2 第 43 回ユネスコ世界遺産委員会への出席

【日 程】 令和元年 7 月 3 日 (水) ~7 月 8 日 (月) まで

【会 場】 バクーコンgresセンター (アゼルバイジャン共和国 バクー)

【主な出席者】 会長 吉村大阪府知事

本部長 永藤堺市長

副本部長 (代理) 安部羽曳野副市長

副本部長 岡田藤井寺市長

【内 容】 ユネスコ日本政府代表部特命全権大使や外務省、文化庁とともに、第 43 回世界遺産委員会に出席し、審議を傍聴した。会長が登録決定直後のサンキュースピーチを行ったほか、出席者がインターネット中継を通じて、現地から大阪市内で開催したパブリックビューイング (III, 1) に参加した。

3 保全状況報告書の作成

文化庁からの依頼に基づき、資産の現状およびその保存管理の概況等をまとめた『世界遺産一覧表記載資産の保全状況』を作成し、12 月 24 日に提出した。

III 魅力創出・情報発信事業

1 世界遺産委員会パブリックビューイングの開催

【日 程】令和元年 7 月 6 日（土）

【会 場】あべのハルカス 60F 展望台（ハルカス 300）

【内 容】第 43 回世界遺産委員会における審議の様子をインターネット中継し、登録の瞬間を関係者とともに見届けた。

【参加者数】約 100 人

※参考：堺市、羽曳野市、藤井寺市においてもパブリックビューイングを開催

市	堺市	羽曳野市	藤井寺市
場所	フェニーチェ堺	LIC はびきの	古室山古墳
参加者数	約 700 名	約 350 名	約 200 名

2 百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録記念シンポジウムの開催

【日 程】令和元年 9 月 15 日（日）

【会 場】りそなグループ大阪本社ビル 地下講堂

【内 容】世界遺産登録を記念し、多くの方々に世界遺産 百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を知っていただくために開催した。

基調講演 「近年の世界遺産の動向と世界遺産委員会の議論」

稲葉 信子氏（筑波大学大学院教授）

講 演 「世界遺産として認められた百舌鳥・古市古墳群の価値」

下田 一太氏（筑波大学大学院助教）

パネルディスカッション「世界遺産としての価値と今後の取組み」

コーディネーター： 岡田 保良氏（国士舘大学教授）

パネリスト： 稲葉 信子氏

下田 一太氏

福永 伸哉氏（大阪大学大学院教授）

徳田 誠志氏（宮内庁書陵部陵墓調査官）

【参加者数】約 400 名

3 「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産一覧表記載認定書伝達式

【日 程】令和元年 10 月 28 日（月）

【会 場】文化庁長官室

【内 容】文化庁長官から、大阪府と地元 3 市の代表者に対し、世界遺産一覧表記載認定書(複製品)が手交された。

【出席者】会長（代理） 新井大阪府副知事

本部長 永藤堺市長

副本部長 北川羽曳野市長、岡田藤井寺市長

4 関西国際空港におけるPRイベント

【日 程】令和元年11月1日(金)～4日(月)

【場 所】関西国際空港 第1ターミナルビル1階

【内 容】国内外における認知度の向上のため、関西国際空港においてマスコットキャラクターによるPRを行うとともに、VR体験、古代衣装の着用体験等ができるイベントを実施した。

5 海外メディア向けプレスツアー

【日 程】令和2年2月4日(火)・5日(水)

【内 容】海外における認知度の向上、海外からの古墳群への来訪者の増加を図るため、世界各国のテレビ、新聞、雑誌、ウェブ等の様々なメディアを通じて広く古墳群の価値や魅力が発信されるよう、在日の海外メディアを対象としたプレスツアーを実施した。

【参加メディア】中国2社、香港1社、台湾1社、フランス2社、ロシア1社、アメリカ1社 計10名

6 各種団体からの表彰

① 大阪活力グランプリ2019

【賞の概要】大阪商工会議所が、大阪の地域経済・産業発展に多大な貢献を果たした個人、法人、団体、施設等を表彰し、その貢献をたたえとともに、大阪のチャレンジ精神・パイオニア精神の発信・高揚を図る。

(受賞理由)大阪初の世界遺産登録を4度目の挑戦で達成した。大阪の存在感を世界にアピールし、インバウンドを含めた観光振興が期待できる。

【表彰式日時】令和元年12月19日(木)

【表彰式会場】大阪商工会議所

【主な出席者】大阪府と地元3市のキャラクター

② 2019年「関西元気文化圏賞」大賞

【賞の概要】関西元気文化圏推進協議会が、文化を通じて関西から日本を明るく元気にすることに貢献した人物・団体等に対し、感謝と一層の活躍への期待をこめて贈られる。

(受賞理由)大阪府内で初めてとなる世界文化遺産の登録に大きく貢献

【贈呈式日時】令和2年1月27日(月)

【贈呈式会場】リーガロイヤルホテル大阪

【主な出席者】会長(代理) 山口大阪府副知事

本部長 永藤堺市長

副本部長 北川羽曳野市長、岡田藤井寺市長

7 民間事業者等との連携による情報発信

民間企業や大学、その他団体等と連携・協力し、様々なツールや手法を活用したPRを実施した。

① 民間企業との連携実績

連携先	連携内容
麒麟ビール（株）	・3市の飲食店、スーパーでの登録応援、登録記念ポスター掲示（5月20日～12月31日）
日本郵便（株） 近畿支社	・オリジナルフレーム切手「世界遺産登録記念 百舌鳥・古市古墳群」の販売（7月26日～） ・百舌鳥・古市古墳群デザイン年賀はがきの販売（11月1日～）、及び贈呈式の開催（10月30日）
（株）りそな銀行	・登録記念シンポジウムを、りそなグループ大阪本社ビル地下講堂にて開催（9月15日）
アサヒビール（株）	・アサヒスーパードライ「百舌鳥・古市古墳群デザインラベル」の販売（11月19日～）、及び発売記念イベントの開催（11月12日） ・売上1本につき1円を寄付（合計：350,880円）
NTTタウンページ（株）	・令和元年タウンページの特集ページにおけるPRを実施
独立行政法人 造幣局	・世界文化遺産貨幣セット（百舌鳥・古市古墳群－古代日本の墳墓群－）の販売（3月12日～）及び贈呈式の開催（3月12日）
関西ウォーカー、 るるぶ等計18社	・雑誌等への掲載
近畿日本鉄道（株）、 JR西日本（株）	・デジタルサイネージでのPR

② 大学との連携実績

連携先	連携内容
大阪芸術大学	2020年のカレンダー制作にあたり、学生がデザイン考案で協力

③ その他団体との連携実績

連携先	連携内容
大阪観光局	・ホームページへの掲載 ・ツーリズムEXPOでのブース出展

※上記のほか、平成30年度に引き続き、府内市町村の庁舎において、のぼりの設置やポスターの掲出を実施していただいている。

8 世界遺産学習会の実施

百舌鳥・古市古墳群や世界遺産に関する理解を深めていただくため、府内市町村や学校、その他団体と連携し、学習会を開催した。

No	連携先	日時	内容	参加者数
1	大阪スカウトクラブ	4月6日 6月9日	講義・現地学習	30名
2	四天王寺大学地域活性化学習	5月22日	講義	150名
3	同志社大学考古学実習室	6月2日	現地学習	20名
4	母子総合医療センター	6月22日	現地学習	20名
5	大阪狭山市熟年大学	6月24日	講義	80名
6	大阪狭山市こども歴史塾	8月22日	講義	33名
7	関西創価高校	9月5日	講義	60名程度
8	関西大学校友会枚方支部	9月21日	講義	40名
9	大阪府建築士会	10月10日	講義	30名程度
10	公募型府政学習会（近つ飛鳥博物館）	10月19日	講義	30名
11	大阪府高齢者大学校	10月23日	講義	98名
12	大阪狭山市 熟年大学特別講座	10月30日 11月6,13日	講義・現地学習	30名程度
13	大阪学芸中学現地見学	11月16日	現地学習	48名
14	加古川市視覚障害者会	11月22日	現地学習	30名程度
15	堺市世界遺産初級講座	11月23日	講義	28名
16	堺学講座	12月5日	講義	250名
17	泉佐野市公民館講座	12月7日	講義	8名
18	大阪建築金物工業協同組合	1月21日	講義	20名程度
19	大阪学芸中等学校	2月4日	講義	18名
20	一般財団法人関西観光本部	2月18日	講義	200名

9 その他

① ホームページの活用（平成31年4月～令和2年2月末）

セッション数	504,717（前年度比 355%）
ページビュー	662,740（前年度比 342%）

② 後援名義使用承認数

10件（2月末時点） ※平成30年度実績 10件

③ シンボルマーク・ロゴ使用承認数

83件（2月末時点） ※平成30年度実績 41件